

安全だより

安全就業5-9号



季節のたより

今年も残すところあとわずかとなりました。これからいよいよ年末のあわただしい時期を迎え、睡眠不足、疲労などが重なり風邪を引きやすくなります。

風邪対策としてうがい、手洗いに加えて「水分補給」も大事な予防策のひとつです。水分補給は喉や鼻の粘膜をうるおしてウイルスの侵入を防ぐと同時に、侵入したウイルスを痰や鼻水によって体外に排出する作用を助けます。

人間の体は約60%が水分で、毎日食べ物や飲み物などから2~2.5リットルの水分を摂取が必要といわれています。

高齢になると水分を蓄える筋肉の量が減少し、食事の量も減るので摂取する水分や塩分も減少します。そのため特に高齢者には朝目覚めた時、10時と3時、入浴前後、寝る前など、こまめな水分補給が夏冬問わず健康の鍵となるようです。

会員のみなさま、今年の就業お疲れ様でした。

来たる新年が、皆様とご家族にとりまして、穏やかで健康な一年となりますようお祈り申し上げます。

二十四節気(冬至)

一年間を24分割した二十四節気、22番目の節気である冬至(とうじ)とは、一年の中でいちばん昼が短く、夜が長い日です。

太陽の力が一番弱まる日ですが、翌日から再び強まるということから、**一陽来福**(いちようらいふく)といって、冬至を境に運が向いてくるとされています。

令和5年12月15日

公益社団法人 東部広域シルバー人材センター

令和5年度上半期事業実績につきましては、上半期の事業実績は、前年度に対し受託件数では1,781件から1,747件(-1.9%)、契約金額では86,870千円から86,807千円(-0.1%)と、受託件数、契約金額共に前年度からわずかに下がりましたが、ほぼ前年実績並の結果となりました。

上半期の事業実績(5年4月~9月)

区分	受託件数	就業延べ人員	契約金額 千円	前年度比増減	
				延人比	金額比
大月	621	4,650	30,411	0.7%	1.7%
都留	522	4,816	30,515	-2.4%	3.6%
上野原	604	3,385	25,881	-11%	-5.4%
計	1,747	12,851	86,807	-3.7%	-0.1%

今年度も既に9ヶ月を迎え、余すところ3ヶ月となりますが、会員のみなさま方には、引き続きセンター事業へのご協力と、加えて最重要課題である新規会員の勧誘に、ご協力をお願いいたします。

年末の交通事故防止県民運動

・実施期間 12月1日(金)~12月31日(日)

1. 飲酒運転の根絶
2. 早めのライト点灯・ハイビームの活用の徹底と反射材使用の推進
3. 高齢者と子供の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止

年の瀬はとかく道路が混雑し、心理的にあわただしさを感じ、また飲酒の機会が増えることから、交通事故が発生しやすい時期ですので、会員の皆さん一人ひとりが交通ルールを守り、交通事故防止に努めましょう。

「安全は無理せず 焦らず 油断せず」

(令和5年度から7年度まで安全就業全国統一スローガン)